

## 事例 20

～再生可能エネルギー熱利用加速化支援対策費補助金を活用した再エネ推進事例～

### 地中熱利用設備を導入した大規模店舗の空調利用

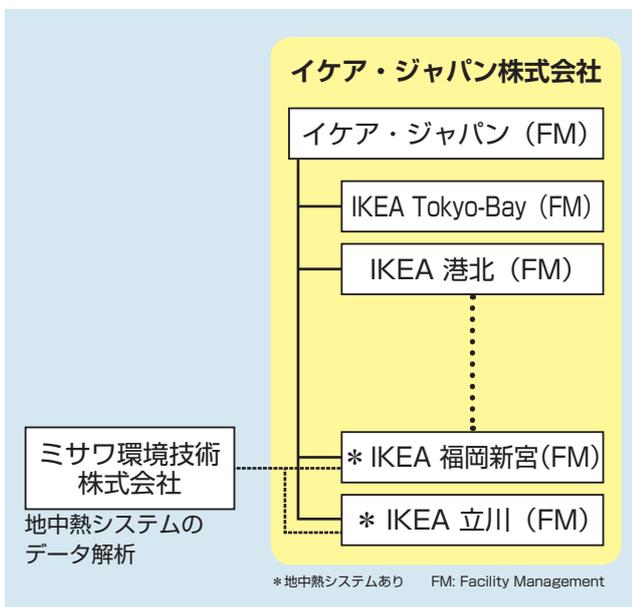
#### ■事業及び設備の概要

世界 28 か国 328 店舗（2015 年現在）を有する家具販売チェーン世界大手、イケアでは、持続可能な未来に向けた環境やエネルギーへの配慮がグローバルで展開されている。「Energy Independent（イケアは外部からの電気に依存しない）」という、イケアのすべての建物で再生可能エネルギーのみを使用するという長期目標を掲げ、2020 年までに事業で消費するエネルギーの 100%に相当する再生可能エネルギーを生産する取り組みを進めている。その一環として建物を建てる段階で投資をして、エネルギー負荷を低減させようと地中熱空調利用を進めており、IKEA 福岡新宮および IKEA 立川では設備を導入した。地中熱は 1 年を通して安定しており、暖房時は外気より高い温度、冷房時は外気より低い温度の地中の熱を熱源とするため、効率の良い運転が可能。また、太陽光や風力などと違い、季節や昼夜を問わず安定的にエネルギーを供給できることが特徴である。

#### ■事業実施上の課題

自社店舗での地中熱利用設備導入事業であるため、投資回収率が低く、社内基準を満たすことが困難であった。

#### ■事業の実施体制



地中熱利用設備による店舗内空調

#### ■利用した施策と内容

「平成 23 年度及び 25 年度再生可能エネルギー熱利用加速化支援対策費補助金」

IKEA 福岡新宮（平成 23 年度）

補助対象経費：約 2 億 1700 万円

補助金：約 7233 万円

IKEA 立川（平成 25 年度）

補助対象経費：約 1 億 8470 万円

補助金：約 6156 万円

#### ■施策を利用したことによる事業の成果

##### ①イニシャルコスト

本施策を活用することにより、イニシャルコストの低減がはかられ、社内の投資回収基準をクリアすることができた。

##### ②環境負荷

イケアとして初めて地中熱利用設備を導入した IKEA 福岡新宮では地下 100 m に地中熱交換器 70 本を設置し、空調熱源システムの省エネルギー化をはかり、消費電力、CO<sub>2</sub> 排出量ともに 36% の削減に成功した。IKEA 立川も同様に消費電力、CO<sub>2</sub> 排出量の 34% 以上削減を達成している。

#### ■問い合わせ先

イケア・ジャパン株式会社

住所：千葉県船橋市浜町 2-3-30

URL：<http://www.ikea.com/jp/ja/>